

情報ネットワーク学科

■選考方法

書類審査、プレゼンテーション資料作成課題及び面接により、多面的かつ総合的に評価します。
学力試験は課しません。

(1)書類審査:提出された出願書類について審査を行います。

(2)プレゼンテーション資料作成課題:(90 分)

「当日提示される課題」に関するプレゼンテーション資料を作成してもらい、情報系分野への適性をはかる評価資料とします。

資料の作成にはプレゼンテーション用ソフトウェアを用いてもらいます。ただし、作成した資料とそれを用いたプレゼンテーションの構成力や論理性を重視するので、日本語入力や基本図形の描画程度ができればよく、高度な操作スキルまでは必要としません。

(3)面接:個人面接(15 分程度)

面接内容 ①(2)で作成した資料を用いたプレゼンテーションの時間を設けます
(5 分程度:プロジェクターを使用)その後、プレゼンテーションの内容について質問をします

②本学科志望理由、自己評価項目、学科適性に関わる事項など

1 日目:プレゼンテーション資料作成課題(90 分:説明時間は除く)

2 日目:個人面接(15 分程度:プレゼンテーションの時間を含む)

令和3(2021)年度 千葉工業大学
総合型（創造）選抜
情報科学部 情報ネットワーク学科
プレゼンテーション資料作成課題
(試験時間 90分)

(指示があるまで開かないで下さい)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の課題についてプレゼンテーション資料（PowerPointファイル）を作成してください。面接時に割り当てられる、プレゼンテーションの時間は5分です。なお、プレゼンテーション資料はタイトルページを含めて6枚以内で作成してください。

【課題】

近年、人工知能（以下、AI と記載）と「モノのインターネット」（以下、IoT と記載）を組み合わせた情報サービスが、数多く提案されています。AI は、言語・画像・映像などのメディアの理解や、推論など、人間が行う活動を、コンピュータの計算処理によって実現する技術のことをいいます。また、IoT は、インターネットに様々なモノが接続され、それらのモノの間で相互に情報交換や制御を行うことができるしくみのことをいいます。様々なモノの例として、冷蔵庫や洗濯機などの家電製品や、カメラ、温度・湿度などを計測するセンサーなどが挙げられます。

AI と IoT を組み合わせた情報サービスの例として、広大な農園に温度・湿度・雨量・風力を計測できる、インターネットに接続された装置を多数設置し、これらのセンサーから集約したデータに基づいて、AI によって作物の生育に適した環境であるかを監視するサービスが提供されています。このサービスでは、以下のような課題を解決していると考えられます。

「広大な農園の状況をきめ細かく確認するためには、多くの人員が必要になる。また、状況を適切に判断するためには、豊富な知識や経験が必要になる。しかし、農業に就く人口は年々減少しており、豊富な知識や経験を有する人員を多数確保することが、困難になっている。」

このような事例以外にも、例えば観光、医療・介護、防災・減災、教育など様々な分野に、AI と IoT を組み合わせた情報サービスや情報システムを導入することによって、現状の課題を解決することが期待されています。

そこで、必ずしも上記の分野に限ることなく、現状の課題を解決することのできる、AI と IoT を組み合わせた新たな情報サービスや情報システムなどを、自由な発想で提案してください。プレゼンテーション資料には、必ず以下の3点を明示してください。

- 現状にどのような課題があると考えているのか
- 提案する情報サービス・システムはどのようなものか
- なぜ提案する情報サービス・システムが現状の課題を解決することができるのか

なお、技術的に実現が可能かどうかは問いません。これまでにないような斬新で、独創的なアイデアを歓迎します。